

# りんご三山の林床植物

ミズナラやブナなど広葉樹に覆われた山腹。その林床はユキツバキ、エゾユズリハなど常緑樹が見られます。これらはみな多雪地域に適応して矮小化した常緑樹です。



葉を落とすことができないこれらの常緑樹たちは、冬、雪の中に埋もれることで、大事な葉っぱを凍結から守ります。雪国の常緑樹たちは、積雪よりも樹高が高ならないよう適応したため「矮小化」の方向に進化したのです。



ヤブツバキの花



ユキツバキは雪にこんなに潰されても平気!

◎エゾユズリハ：ユズリハが矮小化



冬夏

◎ツルシキミ：ミヤマシキミが矮小化



冬夏

◎ヒメアオキ：アオキが矮小化



冬夏

雪国ならではの植物はほかにもたくさん!



# 秋田の山のしおり りんご三山



りんごの里の3つのピーク



## りんご三山プロジェクトとは

平鹿町から増田町にかけて連なる三つの里山。ふもとの集落にとっては、生活にかかせない大切な場でした。戦後の高度成長期を機に、暮らしの燃料が薪から化石燃料になり人々の生活ががらりと変わった現代、これらの里山はわたしたちの生活のすぐ近くにありながら、とても遠い世界となりました。

人の足も関心も遠のいた里山には、今、何があるのでしょうか？ 豊かな自然が残る一方、ナラ枯れの進行する山腹も見られます。古くは縄文の時代から共存してきた山と人の記憶も、伝える人のないまま徐々に新しい時代に埋もれ消えようとしています。

りんご三山プロジェクトは、里山と人をもういちど結びなおす新しい繋がりを模索して生まれました。かつて生活を豊かにしてくれた山。これからはわたしたちの心を豊かにしてくれる場として、未来へ伝え守っていくきっかけとなることを目指しております。

りんご三山プロジェクトチーム





標高:450m

山頂に神社があります

表と裏の2本の登山道

### りんごを探せ! 金峰山ミッション

りんご園のなかの温泉、ゆっふるには巨大なりんごのオブジェがあります! 見つけてね!

よく目立つおにぎり型の三角山。それが金峰山。ふもとの集落の名前と同じ「明澤嶽」と呼ばれた時代もありました。昭和30年代まで女人禁制の修験の場で、山域には30近くもの坊や神社があったと言われます。明治の神仏分離を機に全国的に広がった廃仏毀釈によって、今では山頂にひとつ神社が残るのみとなりました。

## ◎金峰山自然環境保全地域

ここ金峰山ではブナの森の林床にユキツバキの大規模な群落が見られる貴重な植生が残されており、県の自然環境保全地域にされています。花



の見頃は、4月下旬から5月下旬ごろまで。ブナの新緑と、ユキツバキの深い緑と紅色のあでやかな色彩の共演は、金峰山ならではの鮮烈な春の景色です。

## ◎金峰神社

蔵王権現が祀られ、元々は修験の場。坂上田村麻呂が東征平定ののち、大和国の金峰山から勧請したのが始まりとされます



が、当時の神器は戦によって焼失して残っておりません。長らく廃れていましたが、源義家が後三年合戦の祈願をかけ、手柄を立てることができたため神祠を建て凶賊降伏・邦内豊饒などの祈祷がなされたと伝えられています。



標高:335.8m

山頂に神社があります

4等三角点

### りんごを探せ! 男亀森ミッション

山麓にはりんご園がひろがります。雑木林の山道を抜けると、春はりんごの花が、秋はりんごが見られるかも!

地形図にこの名前は乗っておらず、三角点の名称でやっとその名前を確認できます。浅舞方面から眺めると、三角の金峰山と、台形の真人山のまんなかに、2コブの山が仲良く並んでおり右側が男亀森、左が女亀森です。山腹には坑道跡があり、かつては鉱山として短期間ですが掘られていたようです。(危険ですので見学不可)

## ◎不思議な名前「男亀森」

山で「亀」?

ときどき山の名前にはその由来が知りたくなるような響きや漢字が用いられています。

もともとは地元の人々が口伝えに呼び続けてきたのが里山。それが、近代の地図や三角点整備の際に名称を記す必要にせまられ、訛りによる聞き間違いや、それまで特に漢字表記がなかったために、急きよ適当な字を当てられた、ということも少なくなかったようです。

そう考えると、「男亀森」は「おがめもり」の読みからひょっとしたら「拝み森」だったのでは?とか、山が拝む対象ならば、その麓集落の「亀田」の名称は「神の田」の「神田」だったのでは?など、想像力が掻き立てられます。薄れゆく歴史の断片を頼りに推理してみるのも里山ならではの楽しみです。



### 三吉神社とは

真人山、男亀森には三吉神社が祀られています。

三吉霊神は秋田生まれの神様で、やさしく力持ち、そして勝負の神様として親しまれています。かつての太平の城主藤原鶴壽丸三吉は、面倒見のよい名君でしたが、他の豪族にねたまれ追い出されました。世を捨てて太平山に籠り、太平山の神



標高:390.4m

展望地に神社があります

3等三角点

### りんごを探せ! 真人山ミッション

りんごの唄で有名な映画「そよかぜ」のロケ地にもなった真人公園。歌にちなんだりんごの碑を探そう♪

三吉神社が祀られ、元旦には地元の人々で元旦登山が行われるなど地元で愛される信仰の山です。かつては急登を直登し、三吉神社の正面に出る参道がありましたが、今は緩やかな九十九折りの登山道となって、老若男女がのんびりとハイキングを楽しむことができます。

## ◎清原真人武則の居城地

真人山は、平泉文化を作った奥州藤原一族の出自である清原一族の、清原真人武則の居城があったと伝えられています。真人山の名前の由来とも考えられている「真人」とは「まひと」と読み、天武天皇が定めた「八色の姓(やくさのかばね)」の最高位の姓を示しています。なぜ清原一族にこの姓が与えられたのかは諸説あります。山頂から一望できる平鹿平野や彼方の鳥海山を、かつての豪族も展望したのでしょう。

## ◎映画「そよかぜ」ロケ地

真人山の麓にある真人公園は大正天皇即位を記念して造営されました。また2千本の桜が植えられており日本のさくら名所百選にも選ばれ春は花見客で賑わいます。公園にある「リンゴの唄の碑」は、増田町が戦後の日本映画第一作「そよかぜ」のロケ地となったこと、「リンゴの唄」のヒットで地元リンゴのイメージアップに貢献したことから建立されました。

を深く信仰し、修行の末に力を身につけ神様として祀られるようになったのが、三吉信仰のはじまりと言われます。神社には大わらじが奉納される習わしがあり、それは県内の三吉神社でも。これは、この村にはこんな大きな人がいるぞという印で、外からの悪党や災いを防ぐための風習であることが多いようです。